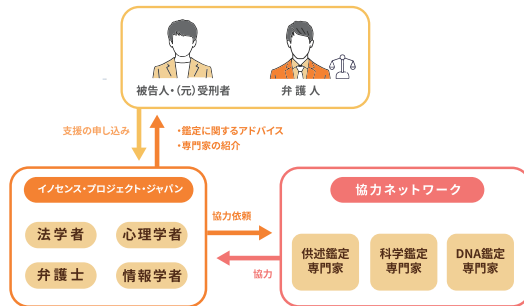


IPJ(イノセンス・プロジェクト・ジャパン)とは

IPJは、刑事事件の「えん罪」の被害者を無償で支援し 救済すること、そして、えん罪事件の再検証を通じて公正・公平な司法を実現することを目指しています。アメリカで始まり、全世界に広がりつつある「イノセンス・プロジェクト」の活動を参考にして、司法実務家、法学者、心理学者、情報科学者、一般市民などの有志により 2016年に設立されました。

支援の流れ



支援事件

湖東記念病院事件

看護助手の西山美香さんは、勤務先で患者を死亡させたとして、殺人罪で有罪判決を言い渡され、12年間服役しました。IPJは弁護士や研究者を交え、事故であったことを示し、2020年の再審無罪判決に助力しました。

今西事件

今西貴大さんは娘を虐待死させたなどとして、一審では傷害致死罪等につき懲役 12 年の判決を言い渡されましたが、大阪高等裁判所は 2024 年 11 月 28 日に逆転無罪判決を言い渡しました。2024 年 7 月に保釈されるまで、今西さんは約 5 年半もの間勾留されました。IPJ が 2022 年に支援を決定した後、学生ボランティアは拘置所での今西さんとの面会や文通を通じて、日々の思いを共有してきました。さらに、今西事件に関するシンポジウムを複数回にわたり開催しました。事件の問題点や今西さんの人柄を伝えることで、多くの人の関心を高める機会となりました。

IPJ学生ボランティアSNS

関西学院大学



@IPJ_kwansei



@ipj_kwansei

甲南大学



@IPJ_enzaikyusai



@konan_ipj

京都女子大学



@kwo_ipj



@ipj_kyojo

近畿大学



@kindai_ipj



@kindai_ipj

獨協大学



@IPJ_dokkyo



@ipj.supporters.dokkyo

立命館大学



@ritsumeipj



@rits_ipj

龍谷大学



@IPJryukoku



@ipj_ryukoku

イノセンス・プロジェクト・ジャパン



Innocence Project Japan 学生 ボランティア



IPJ?

ボランティア?

えん罪?



わたしたちと一緒に



活動しませんか?



IPJ学生ボランティアとは

私たちIPJ学生ボランティアは、2016年の発足以降、次々に参加大学が増えており、現在は、関西学院大学・京都女子大学・近畿大学・甲南大学・中央大学・獨協大学・立命館大学・龍谷大学の総勢約300名の大学生で構成されており、大学や地域の垣根を越えて協力し合いながら、えん罪の問題に取り組んでいます。

具体的には、えん罪に関するシンポジウムの運営や、月に一度のIPJの広報会議への参加、再審で無罪になった人や弁護士に会ってお話を伺ったり、支援事件のえん罪被害者の方と面会を行っています。

これらの活動を通して、えん罪被害者の方を支援し、救済に繋がるよう、多くの人にえん罪被害の実態を伝えていくとともに、私たちの活動を広めていきたいと思っています。

実績・活動歴

- 2018.3 シンポジウム 学生主催
「冤罪を知らう!」
- 2022.3 シンポジウム 甲南大学主催
「取調べへの弁護士立会権とえん罪防止」
- 2022.10 シンポジウム IPJ主催
「えん罪救済へのさらなる挑戦」
- 2023.3 シンポジウム IPJ共催
「それでもえん罪はなくなる」
- 2023.6 シンポジウム IPJ共催
「人質司法を考える」
- 2024.3 シンポジウム 甲南大学主催
「神戸質店事件シンポジウム ~再審請求に向けて~」
- 2024.8 シンポジウム IPJ共催
「公正な裁判の実現に向けて 今西事件」
- 2024.11 シンポジウム IPJ共催
「今西貴大さんが経験されたこと 私たちが取り組んできたこと」
- 2024.12 シンポジウム 立命館大学主催
「0.1% とその先 湖東病院事件」
- 2024.12 シンポジウム 京都女子大学主催
「全ての人の人権が守られる社会へ~すべての人に公平な司法を~」



学生の声



関西学院大学

学内で、えん罪事件と関連する刑事訴訟法分野（証拠法など）について勉強会を行っています。
IPJでの活動を通じてリアルタイムで支援事件に関わることで、えん罪が決して他人事ではないという意識を持つとともに、刑事法への理解も深めることができています。同じ興味関心を持つ仲間と意見を交換したり刺激を与え合ったりできることも、IPJ学生ボランティアの大きな魅力であると感じています。

Kwansei Gakuin University



京都女子大学

私たちは、えん罪事件の調査や高校生・一般の方向けの講演会などの活動を行なっています。「えん罪」に対して、京女生ならではのジェンダー視点も取り入れながら、学生である私たちには何ができるのか考え、多くの方に問題意識を持ってもらえるよう、日々努力しています。
これからも、さまざまな活動を通じて、支援の輪を広げられるような活動をしていきたいです!

Kyoto Women's University

近畿大学

現在、私たちのメンバーはまだ少人数なので、参加者募集を行うとともに、IPJ支援対象者への支援活動や、少人数でもできる裁判傍聴、報告会など、積極的に参加して学びと支援の両立を目指します!
収容されているがIPJの存在を知らないえん罪の人々にも知ってもらえるよう広報活動もしていきたいと考えています。

Kindai University



甲南大学

IPJに設立から関わる笹倉香奈先生のもとで2016年から活動しています。学生ボランティアの活動の中で、えん罪原因や被害者の声に向き合うことで、えん罪はもはや他人事ではないことに気づきました。私たち学生ボランティアは刑事司法の課題を深く考えるシンポジウムやワークショップなどを開催し、少しでもえん罪問題に対する社会の関心を広げられるよう活動しています。そしてこれからもより良い司法を実現することを目標に活動を続けていきます。

Konan University

獨協大学

えん罪に関する映画鑑賞会や勉強会に取り組むことで、えん罪に現在も苦しめられている人がいると知り、支援をしたいと思うようになりました。
刑事弁護・えん罪事件に関する講演会を、自分たちで企画し開催できたことが活動の中で特に印象に残っています。
今後は、獨協大学の公認団体になり、より多くの人に情報を発信できる存在になりたいです。

Dokkyo University



立命館大学

立命館では、中高生への出張講義や映画上映会、シンポジウムの企画、運営などの活動を行っています。出張講義ではクイズ形式を用いたり、パワーポイントを工夫したりして、高校生にわかりやすく伝えることができました。今年は初めてシンポジウムを単独開催し活動の幅も広がりました。これからも活動を通じて冤罪の問題点などを伝え、冤罪のない社会の実現に貢献していきたいと思っています。

Ritsumeikan University

龍谷大学

IPJ学生ボランティアに入ったきっかけは、実際の事件や弁護士系ドラマを見てえん罪に興味を持っていた等様々あります。
私たちが行った活動で印象に残っているのは、袴田さんとの面談や、弁護士同席での裁判傍聴です。
これからもえん罪被害者の救済をはじめ、精力的に活動していきたいです。

Ryukoku University